

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集：FXニュースレター

執筆担当：斎藤登美夫

◆◆◆ No.0749 ◆◆◆

23/08/02

【ドル/円の「荒れる展開」いつまで続くか】

先日終了した7月相場は波乱の展開。実際、144円台で寄り付いたのち137円台まで下落するも、月末のNYクローズは142円台だった。つまりVの字型の上昇で、下げ幅の多くを取り戻して月替わりを迎えたわけだ。

そんな7月相場の月間変動幅は7.66円(月間レンジ137.25-144.91円)だったが、これは飽くまで一方通行としての値幅。チャートを見ると、前述したようにドルは下押し後に「行って来い」に近い急反発をたどっており、そうした意味では月間を通し優に10円を超える変動をたどっていたと言ってよい。昨年3月以降の荒れる展開が依然継続するなか、足もとの8月についても大相場への期待が取り沙汰されている。

◎経験則から8月相場は「小動き」少くないのだが…

当レターの恒例になっている「経験則から見た月間見通し」。それと関連し、8月相場については一般的にもよく浸透している経験則がある。それは、「8月相場は円高有利」という話だ。

しかし、実際に1990年以降昨年までの過去33年間の勝敗表をみると、14勝19敗という状況でそれほど極端に円高が有利という状況にはない。また、2013年から昨2022年まで過去10年に限れば、戦績はなんと6勝4敗で円安が有利。さらに2020年から昨年までの直近3年間は、すべてドル高・円安に進んでいることも今回明らかになった。

これからすると、「8月円高有利」との見方は少し古い経験則であり、現在ではそれを鵜呑みにし、今年相場に単純に当てはめることは危険であるのかもしれない。過去のデータをよくよく勘案したうえで、なるべく確度の高い見通しそして戦略を立てていただければと思う。

さて、そんな8月相場には別の特徴がうかがえる。具体的に言うと、実は「あまり大きな値動きをたどることが多くはない」ということだ。たとえば、2020年の8月は月間変動幅1.95円で年間11位、2021年は同2.08円で年間10位一の変動にとどまっていた。

一般的に8月は中旬にかけ、実需筋を中心とした日本勢が盆休みを迎えるほか、欧米勢もサマーバカンスを取る向きが多い。つまり参加者が減退し薄商いをたどることが多い環境下、「薄商い＝荒れ模様」の展開をたどるのではなく、「薄商い＝動かない」ということになる公算が過去には多かったと言えそう。先で指摘したように、個人的には今年8月も、これまでの流れを継ぐ格好での「大相場」継続を期待しているが、今年は果たして如何なる動きをたどるのだろうか。

一方、相場そのものの特徴というわけではないが、過去8月のニュースや世界情勢を調べてみたところ、為替や金融に関する重要な事象が起こることが少なくないことがわかった。

一例を挙げると、「ニクソンショック(1971年)」「EMSの通貨調整(1993年)」「ドル/円が100.40円の当時最安値を記録(1993年)」「ドル/円が147.64円のドル戻り高値示現(1998年)」「ルーブル危機(1998年)」「1995年記録のドル最安値79.75円を初めて下回る(2011年)」一などとなる。

もちろん、こうした事象は毎年確実に起こるものではない。しかし、ここ数年の社会情勢はもはや何が起こればまったく不思議はないだろう。

話を「為替絡み」に限っても、たとえばドル/円は本稿執筆時のレベルが143円台。それを踏まえ、8月相場も「よく動くだろう」と考えると、ドル高方向に進めば6月高値の145.07円を更新する可能性も否定できないだけでなく、その場合には政府・財務省が昨年に続きドル売り・円買い介入に出動しても不思議はなさそう。また別途レポートしたように、今年はユーロやポンドがここまで堅調推移。実際にユーロ/円やポンド/円、ポンド/ドルなどが7月に今年の年初来高値を更新する展開をたどっているが、今月さらに上値を広げることになるのかもしれない。8月は、ドル/円に限らず為替全般で、やはり「薄商い＝荒れ模様」には要注意というイメージだ。(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確

性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved



FX-newsletter